

# 鹿市医郷壇



464

樋口 一風 選

## 兼題 「計算(さん)によ」

天

川内つばめ

おめでたも計算が合(あ)わじ夫婦喧嘩(けんか)

(唱) 曆(こよ)む繰(く)ったややつ思(お)め出(だ)せつ

おめでたの意味は妊娠(ごん)だろうと思(おも)いました。子宝(こぼ)が授(あ)かったと奥(おく)さんから聞き、夫(つま)には記憶(きおく)がないのもしや浮気(うけ)でもと一瞬(いつしゆん)妻(つま)を疑(うたが)いましたが、二人(ふたり)で話(わ)し合(あ)った結果(けっか)、夫(つま)の勘違(かんちが)いとわかりました。先(ま)ずは、めでたしめでたしです。面白(おもしろ)い発想(はっしやう)でした。

地

城山古狸庵

計算(けいさん)違(ちが)い覚悟(かくご)ん外(ほか)ん強(つよ)か嫁(よめ)

(唱) 顔(つら)れ惚(ほ)れたとを今(いま)めなつて後悔(くわい)

奥(おく)さんは、多分(たぶん)猫(ねこ)を被(か)つていたの(の)でし(し)ょう。結婚(けっこん)をしたら、優(やさ)しく傳(つた)えてくれる優しい奥(おく)さんになり、楽(たの)しい家庭(かてい)を築(た)いてくれるだろうと計算(けいさん)して(して)いた(いた)の(の)です。ところが、結婚(けっこん)した途端(とたん)にか(か)あ天(あま)下(か)に変身(へんしん)しました。残念(ざんねん)で(で)したと、言(い)つ(つ)より他(ほか)はありませ(ませ)んが、それ(それ)も宿命(くわいめい)と諦(あきら)めて仲良(な)く暮(く)しまし(し)よう。鹿兒島(かごしま)弁(べん)では「覚悟(かくご)ん外(ほか)」という言葉(ことば)をよく使(つか)います。「思(おも)いがけな(な)いとか、意外(いがい)」という意(い)味(み)です。

人

上町支部 吉野(よしの)なでしこ

宝籤(たからくじ)じ当(あた)つ計算(けいさん)で夢(ゆめ)を買(か)つ

(唱) 世界(せかい)一周(いっしゅう)ん予約(よやく)くばす(す)い気(き)

そう(そう)そう。ジャンボ籤(くじ)を十枚(じゅうまい)三千円(さんぜんえん)ほど買(か)つて、豪華(ごうか)客船(きゃくせん)で世界(せかい)一周(いっしゅう)の旅(たび)を計(けい)画(かく)します。お金(かね)なら懐(ふところ)に一杯(いっぱい)ある(ある)ので何(なに)も心配(しんぱい)いりませ(ませ)ん。夢(ゆめ)は幾(いく)らでも膨(ふ)らんでい(い)きます。でも

当た(あた)らないの(の)が宝籤(たからくじ)です。また次(つぎ)のジャンボ籤(くじ)を狙(ねら)いまし(し)よう。「夢(ゆめ)を買(か)つ」良かった(よかったです)です。

五客一席

清滝支部

鮫島爺兒医

計算(けいさん)しつ決(き)め方法(はうほう)が無(な)とが迎(むか)えん日(ひ)

(唱) 両親(ふたおや)ん歳(と)す越(こ)えてん元氣(げんき)

五客二席

紫南支部

二軒茶屋電停

嫁娶(よめと)いは計算(けいさん)通(と)いな(な)いかん俺(おれ)

(唱) 親子(おやこ)ん考(かん)げ少(ち)す違(ちが)いこでけ(け)つ

五客三席

霧島

木林

特売日(とくばい)計算(けいさん)もせんじ直(いっ)き買(か)つ

(唱) レジ(レジ)い行(い)てかあ恥(は)ずば搔(か)いた財布(さいふ)

五客四席

醤油屋孫一

呆(ぼ)けもせ(せん)じ金(きん)の計算(けいさん)ん卒寿(くわんじゆ)婆(ば)

(唱) 財布(さいふ)あしつかい握(にぎ)つ放(はな)さじ

五客五席

印南

本作

パソコンに計算(けいさん)をさせ(させ)つ楽(たの)な事務(じむ)

(唱) さつ(さつ)さ済(す)ませ(させ)つ定(じやう)時(じ)い帰(かえ)つ

# 秀逸

城山古狸庵

国道が通つ計算で土地を買つ  
暗算が出来じスマホを取り出せつ  
胸算用醜男ん方が出世しつ

清滝支部 鮫島爺児医

国有地計算ん通い安価すで買つ  
親ん愛計算すいにも無か秤  
大谷が計算を越えた仕事しつ  
五七五ん計算が合わじ句いならじ  
遺産分け計算が合わじ兄弟喧嘩  
日食が秒すい分かつ凄ぜ計算

上町支部 吉野なでしこ

月末ん計算が合わじまた残業

川内つばめ

恋愛にや計算じゃ解けん多か謎  
酔る坊い計算をさせつ大て支払  
子い計算威張つ教えつ恥ずば撞つ  
金持の計算あ桁が凄ぜ違ごつ

霧島 木林

毎月の給料ん計算い気を遣つ

印南 本作  
計算高け甘えた声で使こ秋波

醤油屋孫一  
若こ言てん計算が合わん婆ん歳

薩摩郷句鑑賞 113  
宝くし狙ろた計算が大て間違げ

川田 初男

間もなく、やれ減税をするの、国民生活  
を豊かにするのと、齒の浮くような話を  
聞かされることだろうが、そう簡単に  
不況から脱出する策はなさそうである。  
年の瀬になると、銀行強盗だの、引つた  
くりだのと言つ犯罪が続出するものだが、  
そんなことのできない善人たちは、はか  
ない夢を託して宝くじを買い、若し当たつ  
たら・・・などと、当てにならない胸算  
用をしてみるのである。

ポーナスを合わん算用を締めくくつ

久保山三蔵塚

「会わん算用」と言うのは、「帳尻が  
合わない」とか「計算が合わない」と言  
うような意味ではなく、収支が釣り合わ  
ない、つまり赤字が出ると言うような

意味。

この場合、赤字続きだった家計簿も、  
ポーナスでなんと穴埋めをすることが  
でき、年末の締めくりができたと言つ  
事である。遣り繰り算段に苦労している  
主婦のほっとした顔が見えるようである。

三條風雲児著 薩摩狂句曆から

## 薩摩郷句募集

9号

題吟 「友達(どし)」

締切 平成30年8月6日(月)

10号

題吟 「無理(むい)」

締切 平成30年9月5日(水)

選者 樋口 一風

漢字のわからない時は、カナで書いて  
応募ください。選者が適宜漢字を  
あててくださいます。

応募先 〒八九二-〇八四六

鹿児島市加治屋町三番十号

鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係

TEL 〇九九-二二六-三七三七

FAX 〇九九-二二五-六〇九九

E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp